

簡易式山羊の人工授精

～人工授精にチャレンジしてみませんか？～



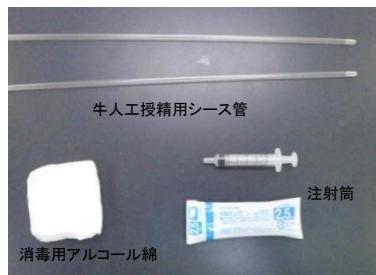
(独)家畜改良センター 茨城牧場長野支場

★メリット

優秀な雄山羊の精液を使うことで、泌乳量の多い山羊が生まれてくることが期待されます。
人工授精は、改良を促進するために有効な技術です。
従来の精液注入方法に比べて、人手も掛からず、短時間での実施が可能です。

★人工授精に必要な器具

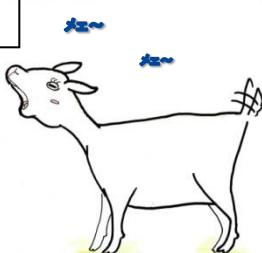
- ・人工授精用精液(液状)
- ・牛人工授精用シース管
(30cm程度にカット)
- ・注射筒(2.5ml)
- ・消毒用アルコール綿



※当場では、冷蔵宅配便での人工授精用精液の配布(有償)を行っています。冷蔵庫(4°C)で3~4日保存可能です。

★人工授精の方法

準備



発情の確認

山羊は、鳴き声、尾を振る、陰部の腫脹、粘液等の発情兆候が明瞭です。

1

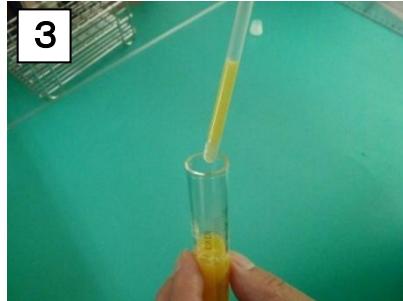


2



注射筒にシース管を取り付け、
0.5mlまで空気を吸う。

3



精液を0.5ml吸い上げる

4



陰部をアルコール綿で消毒した後、
シース管をゆっくりと奥(腔内深部)ま
で挿入して精液の注入を行う。



※注入に慣れない場合は補助
をしてもらいましょう。

★受胎させるためのポイント

人工授精を行う個体は、発情の状態をよく観察することが大切です。発情時に、精液注入を確実にすることで、受胎率の向上が期待出来ます。



当場では、家畜人工授精師(山羊)の資格が取得できる講習会を開催しています。
その他、山羊人工授精技術の個別研修の受け入れや山羊精液(液状、凍結)の配布(有償)を行っています。
お問い合わせはこちらまで